

1 URの震災復興支援の概要

(1) URの復興支援体制

(平25.10.1現在)

○現地320名体制

内訳) 岩手県:144名、宮城県:164名、福島県:12名

※福島県については、今後、原発避難者向け公営住宅の建設等の要請があれば体制を強化していく所存。

(2) 復興市街地整備事業

(平25.10.1現在)

○12市町22地区の復興市街地整備をフルパッケージ(計画・換地・補償・工事・調整)で事業受託。(区画整理事業の約半数を支援)

- ・全22地区で事業認可等が完了し、市町と事業受委託契約を締結済。(うち今年度11地区)
- ・15地区で工事着工済。今年度内に全地区で着工予定。

	着工済	平成25年度下期着工(予定)		計
			うち事業者公募中	
CM方式	12地区	6地区	6地区	18地区
その他	3地区	1地区	-	4地区

○大槌町(5地区)、石巻市(46地区)において、自治体の工事発注手続き等を支援。

(3) 災害公営住宅の建設及び譲渡

(平25.10.1現在)

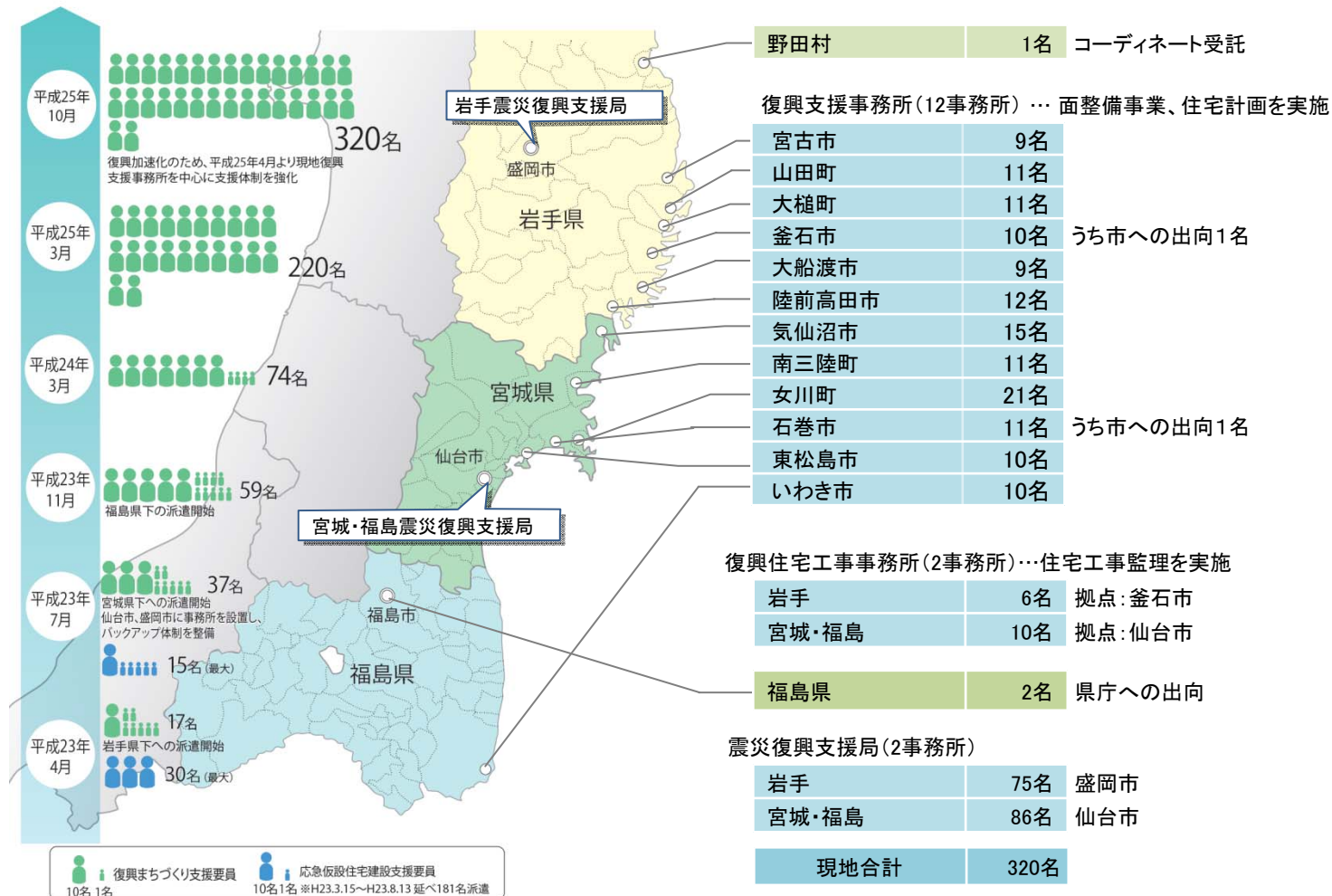
○15の市町から要請を受け、2,804戸の災害公営住宅を整備中。

完成年度(予定)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	計
		365戸	888戸	1,551戸

2 URの震災復興支援体制 (H25.10.1現在)

- 被災地域の早期復興に向け、被災市町村等へ職員を派遣し、復興計画策定等の技術支援及び災害公営住宅や復興市街地整備等の復興まちづくり等を推進。
- 平成25年度には、復興の一層の加速化のため、現地復興支援事務所(12事務所)を中心に支援体制を強化。(平成24.3末 74名 ⇒ 平成25.3末 220名 ⇒ **平成25.10.1 320名**)
- 加えて、CM方式の工事発注の導入等、効率的な外部マンパワーの活用にも取り組んでいる。

復興まちづくり支援要員の推移と現地復興支援体制(平成25年10月1日現在)



3 復興市街地整備事業支援地区の進捗状況(平成25年10月1日時点)

■ 計画策定等受託
 ■ 事業施行受託
 ● 工事着手
 ○ 工事着手予定
 ☆ 宅地使用開始予定

県	市町	地区名	計画面積	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度～
岩手県	宮古市	田老	45ha	■	●		☆	
		鍬ヶ崎・光岸地	24ha	■	●		☆	
	山田町	大沢	19ha	■		○	☆	
		織笠	15ha	■	●		☆	
		山田	50ha	■	●			☆
	大槌町	町方	36ha	■	●		☆	
	釜石市	片岸	23ha	■		○	☆	
		鶉住居	50ha	■		○	☆	
		花露辺	1ha	■	●		☆	
	大船渡市	大船渡駅周辺	36ha	■		○		☆
陸前高田市	今泉	124ha	■	●			☆	
	高田	199ha	■	●			☆	
宮城県	気仙沼市	鹿折	42ha	■	●		☆	
		南気仙沼	33ha	■	●		☆	
	南三陸町	志津川	111ha	■	●			☆
	女川町	中心部	221ha	■	●		☆	
		離半島部	23ha	■	●		☆	
	石巻市	新門脇	24ha	■		○	☆	
	東松島市	野蒜北部丘陵	90ha	■	●			☆
東矢本駅北		22ha		●		☆		
福島県	いわき市	薄磯	37ha	■		○		☆
		豊間	56ha	■		○		☆

※この他、コーディネート業務(野田村)及び再開発事業の支援(須賀川市)を実施中。

※平成25年10月1日時点の予定です。

4 CM方式による工事発注(スピードアップ)

CM方式：段階的な工事を大括りし、設計・施工・マネジメントをまとめて発注

- ① **大括り化**により、**契約手続きの簡素化・期間短縮**
コスト&フィー方式で資材高騰等の受注者リスク軽減
- ② 全国から**職人・資材・重機を早期確保**(関東・関西等)
- ③ **民間ノウハウ活用**による**工期短縮**(大量土砂搬出等)
- ④ オープンブック方式により、**透明性と地元参入確保**

5 復興市街地整備(事例1)【東松島市野蒜北部丘陵地区(1/2)】

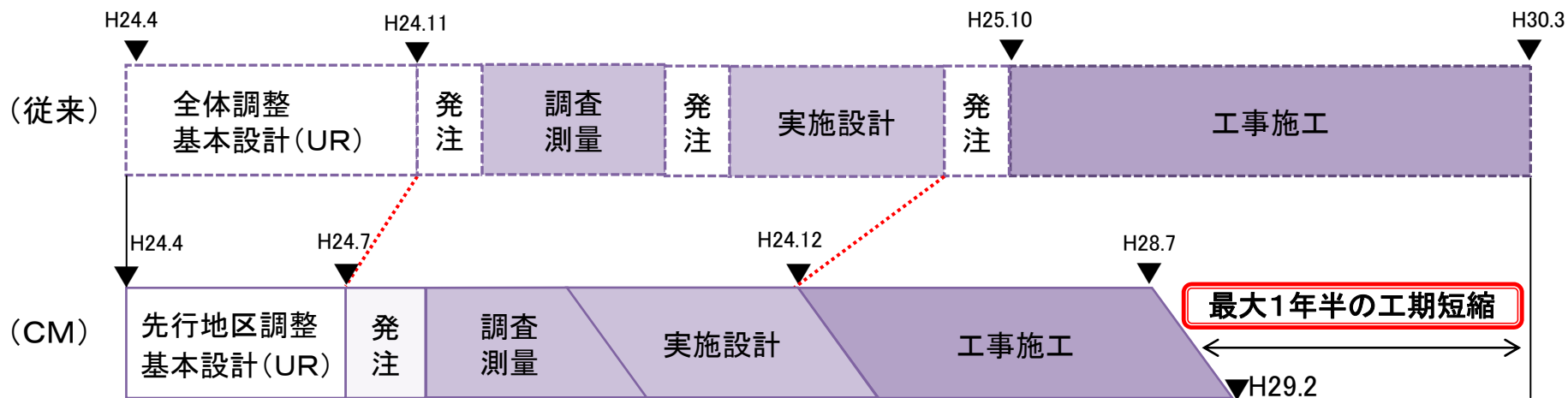
○平成27年のJR仙石線の移設・復旧と一体的に高台新市街地を整備
(住宅用地562戸、生活支援施設用地等平成27年度宅地供給開始)

○CM方式での民間提案により約300万m³の残土をベルトコンベヤ等で搬出し、工期を短縮



5 復興市街地整備(事例1)【東松島市野蒜北部丘陵地区(2/2)】

野蒜北部丘陵地区



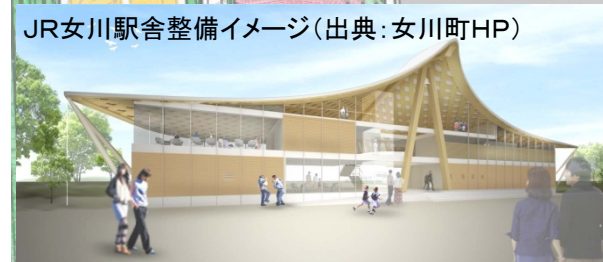
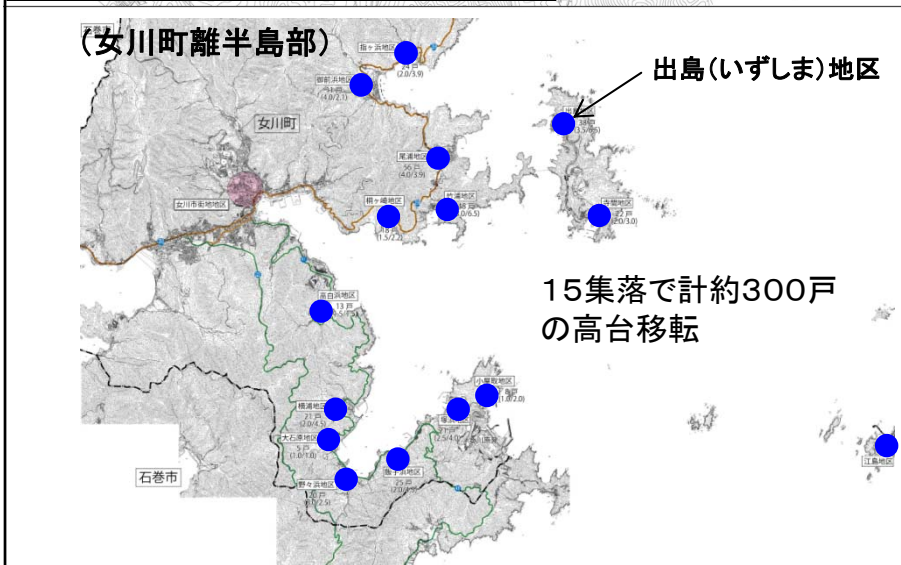
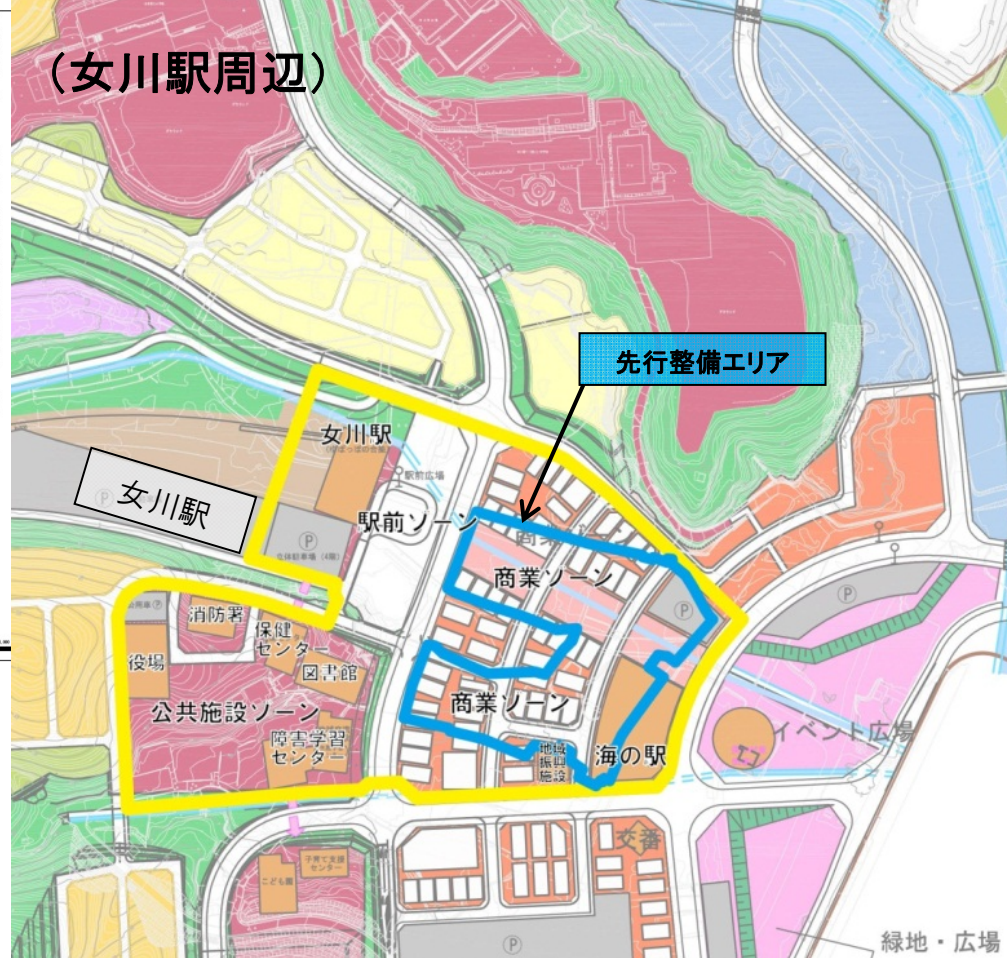
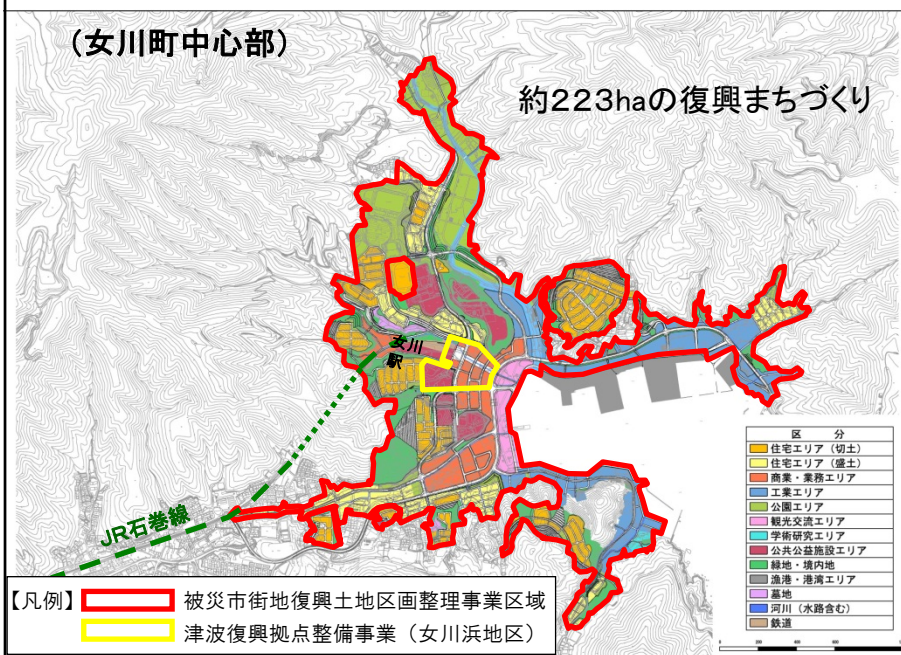
造成工事の着手状況 (H25.8.18)



仙石線部の工事状況

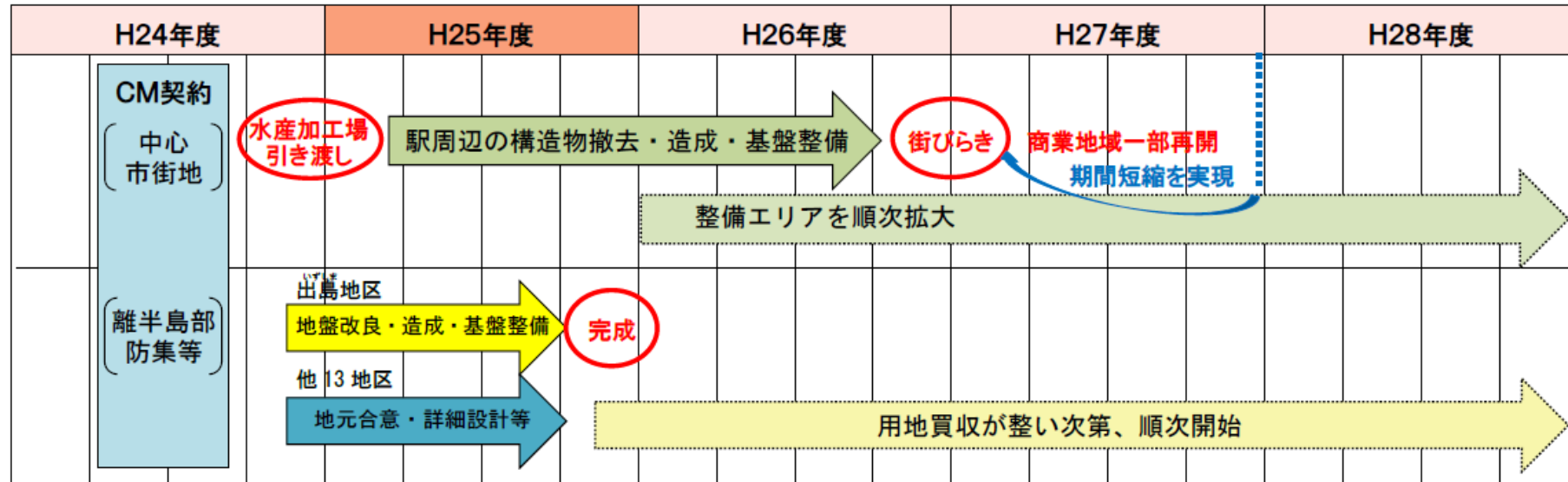
6 復興市街地整備(事例2)【女川町中心部・離半島部(1/2)】

○平成27年3月の女川駅前のまちびらきに合わせ、約8mの盛土工事を急ピッチで施工中



6 復興市街地整備(事例2)【女川町中心部・離半島部(2/2)】

女川町



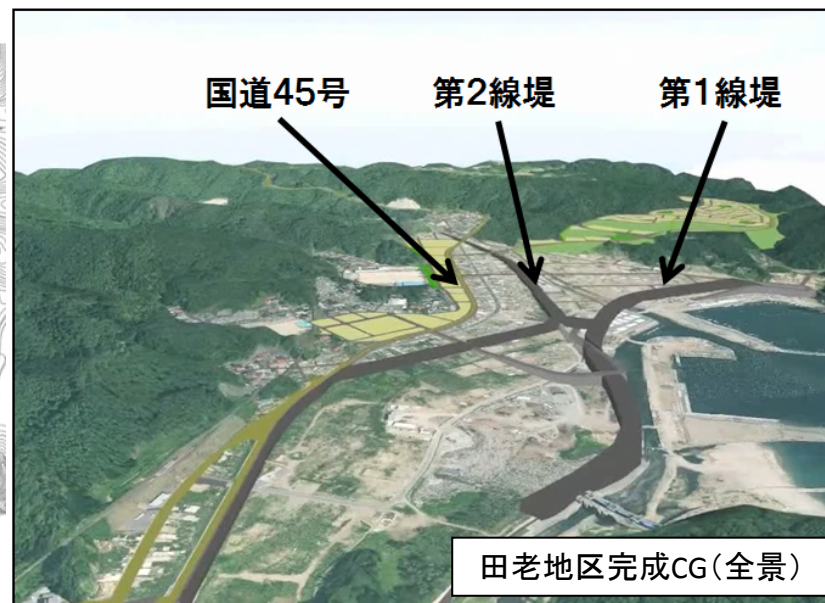
中心市街地 駅周辺の本格造成(盛土)工事開始状況



離半島部 出島地区の造成に向けた地盤改良完了

7 復興市街地整備(事例3)【宮古市田老地区(1/2)】

○嵩上げ市街地(平成26年度末供用開始)と高台団地(平成27年度供用開始)の造成工事を、CM方式の民間提案により工期短縮を図りつつ、急ピッチで施工中

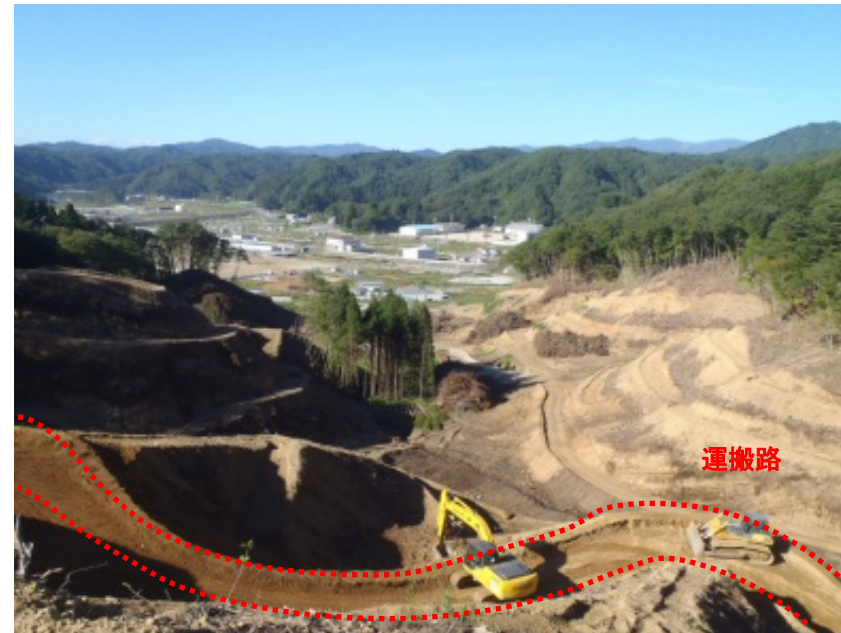


7 復興市街地整備(事例3)【宮古市田老地区(2/2)】

宮古市田老地区



高台団地(乙部地区) 伐採状況



高台団地(乙部地区) 本格造成開始に向けて運搬路を急ピッチで整備中

8 災害公営住宅整備支援(1/2)

- 15の市町から要請を受け、2,804戸の災害公営住宅を整備中(平成25年度365戸完成)
- 地域の防災拠点整備、高齢者・子育て層の安心居住、地元企業・産材の活用等に配慮

①地元産木材を活用した災害公営住宅 (大槌町大ケ口地区) 平成25年8月完成済

○コミュニティを育む配置計画

- ・ 地区内を横断する東西方向の通路
- ・ 既存の市街地との接点に集会所、コミュニティ広場を設置

○地域のシンボルとしての景観形成

- ・ 周囲との調和を図る低層住棟

○地元産材、地元事業者の活用

- ・ 地元産材を活用した木のぬくもりを感じられる和風住宅
(木材の6割は大槌町産材)
- ・ 設計、工事(一部)で県内、町内の事業者を活用

地域地区 : 第一種低層住居専用地域 敷地面積 : 約1.2ha
 構造階数 : 木造長屋 1~2階建
 戸数 : 70戸 (1DK:27戸、2DK:17戸※、3DK:20戸、4DK:6戸)
 ※車椅子対応住戸4戸を含む
 スケジュール : 平成25年1月 着工
 平成25年8月 竣工、入居開始

(位置図)



(地区全景)



(集会所(左側)、住棟(右側)と広場)

(町長から入居者代表への鍵引渡)



8 災害公営住宅整備支援(2/2)

②地域の防災・福祉拠点となる災害公営住宅（多賀城市桜木地区） 工事中・平成26年度完成予定

津波避難機能を含む複合施設

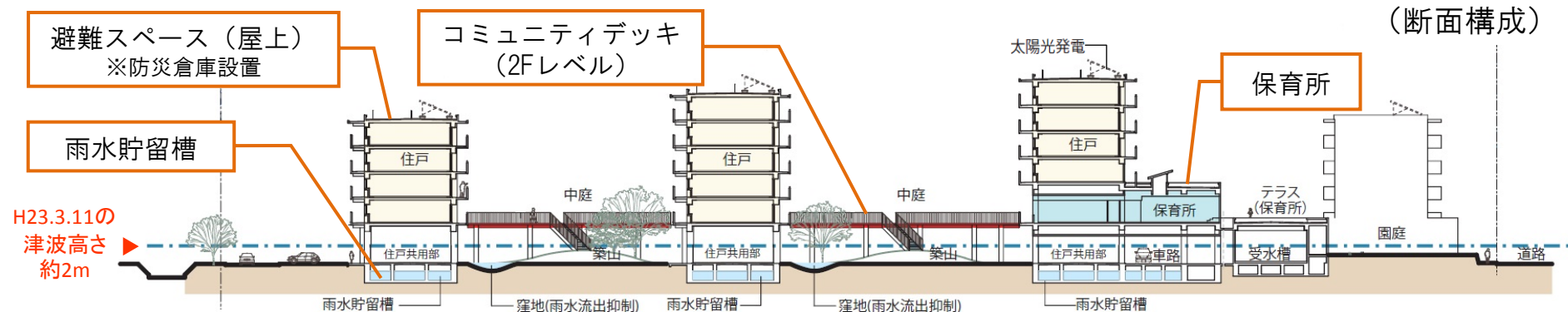
・津波浸水地のため、地域の一時避難場所としても整備
日常利用を促し容易に避難できるよう計画

- 1階非住戸、雨水流出抑制による浸水対策
- 福祉施設の充実：高齢者生活相談所
- 2階レベルへの保育所設置

(整備イメージ)



地域地区： 第一種住居地域 敷地面積： 約1.7ha
構造階数： RC造 4～6階建 戸数： 160戸 (1LDK～3LDK)
スケジュール： 平成25年6月 着工、平成26年10月 完成予定



③災害公営住宅整備スピードアップの取組み

- ・設計・施工一括方式の採用
- ・市場価格を十分調査した発注
- ・土地区画整理事業予定地内の宅地を、地主の了解を得て先行して嵩上げし、住宅着工
下和野地区(陸前高田市)で完成時期を1年前倒し